

令和7年8月 27 日

2学期始業式あいさつ

- みなさん、おはようございます。校長の都丸です。
まずは、みなさん夏季休業期間中は計画的に、有意義に過ごすことができましたでしょうか。生活習慣を乱さずに過ごすことができたでしょうか。
- 本日より2学期がはじまりますが、猛暑が続いていますが。暑さは9月まで続くようです。9月上旬すぎからは少しずつ気候の変化があるようですが、まだまだ熱中症対策が必要となります。引き続き、生活習慣を整えるよう自らしっかりと対策してください。
- さて、この夏季休業期間中に、みなさんもテレビやスマホでも見たり、聞いたりしていると思いますが、今年は戦後 80 年となります。
- 戦後から日本は国際平和を切実に願って、戦争と武力による威嚇や武力による行使は、国際紛争を解決する手段として永久に放棄したことはみなさんもお存じだと思います。
- 戦争により多くの人が苦しみ、多くの人が悲しい思いをしました。このことは、永久に忘れてはいけないことです。もちろん、私も戦争を直接知ることはありませんが、武力による問題解決を図るという手段を取らないように努めていくことが大切だと思います。
- 2年生は、これから修学旅行があります。目的は、平和学習です。しっかりと学んで戦争による紛争がいかに多くの人を苦しめ、悲しませるものなのかということを理解してもらいたいと思います。
- 3年生は既に学んだことを思い出してもらいたいと思います。1年生は、来年です。少しでも関心を持ち、次年度につなげてもらいたいと思います。
- 8月 23 日の神奈川新聞に、オナガザル科のゲラダヒヒという平和主義のサルの話が掲載されていました。
- ゲラダヒヒは、群れ社会を営みながらも序列がなく、縄張り争いもしないそうです。生息するエチオピアの高地は水飲み場が乏しいそうです。霊長類の多くは優位な群れから水を飲むそうですが、このサルは先着順なのだそうです。他の群れは順番が来るのをおとなしく待っているそうです。個体間で争うことはあっても、上唇をまくり威嚇するだけで、互いに血を流すことはないそうです。とっても素晴らしい動物がいるなと感心しました。
- さて、進化をとげ、知識を学び、発達したはずの私たちはどうでしょうか。
- みなさんはインクルーシブ教育実践推進校で学んでいます。インクルーシブ教育実践推進校で何を学び、そして次代を担うみなさんが、自分自身でどのような社会を形成していかなければならないのか。そんなことを頭に置きながら、この霧が丘高校でしっかりと学び、よりよい社会の担い手として、大きく成長して

いってもらいたいと思います。

- いよいよ来週末は霧高祭が行われます。耐震工事によりしばらく使用できなかった体育館が戻ります。
- そして、今年の霧高祭は、一般公開します。他者理解、思いやりの意識を持ちながら来場者を迎えてもらいたいと思っています。
- 何事も全力で取り組むことで、真剣さにつながり、大きな成果を呼びます。全力で取り組まなければそうしたことは味わえません。みなさんがものごとに全力で、真剣にあたれば、来場者の方々も必ず楽しいと思ってくれるはずです。
- いよいよ進路活動が本格化する3年生のみなさんは、これまで霧高で学んだことを力に全力で取り組んでください。
- 2年生は、修学旅行に、そして1年生は、はじめての霧高祭でさらに学校生活に、それぞれがこれからの取り組みに弾みをつけられるよう全力で取り組んでください。
- 折しも、今年度のテーマは「霧我夢中」です。まずは、この文化祭に全力で、真剣に取り組んでいきましょう。
- そして、それぞれの目標に向かって弾みをつけ、実りのある2学期としてください。